

第24回 板橋区医師会医学会

プログラム・演題抄録集



公益社団法人
板橋区医師会

卷頭言

板橋区医師会医学会 会長 斎藤 英治

本年も12月7日（土）、8日（日）に板橋区医師会医学会を開催することとなりました。多くの皆様方のご協力により、本医学会も24回を重ね、1日目は多職種の方に御参加頂き討論の場として、2日目の区民公開講座は板橋区との共催で、区民の方へ医師会として発信したい情報を伝えする場として、地域に少しづつ根差してきたものと考えております。

1日目の演題発表は、要望演題1「チームで取り組む医療・介護」、要望演題2は、昨年区民公開講座のシンポジウムのテーマにも挙げさせて頂きましたが、「ACPを考える」とし、その他医療・介護に関する一般演題やポスター発表を合わせて92題となりました。また教育講演は、感染症に対する知識を最新のものとする機会として、医療安全研修会を兼ねて「かかりつけ医の感染対策」と題して、帝京大学医学部附属病院感染制御部部長の松永直久先生にご講演いただきます。

日本は超少子高齢社会となり、今後益々全世代型の共生社会が必須ですが、住み慣れた地域は、最近では核家族化から単身世帯も多くなり、地域の人の繋がりが希薄となっています。一方で、がん対策基本法の改正、成育医療等基本法の成立、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」からも、地域、職場、学校などすべての場面で人々が繋がり、病気や障害などを持っていても平等に生活し、教育を受けることのできる社会を目指していくかなければなりません。そこで2日目は、妊婦、子育て世代のサポートや、子どもたちに起きている問題とそれに対する取り組みなどをご紹介する区民公開講座と致しました。

午前の最初は、東京都相互理解のための対話促進支援事業として東京都小児科医会小児救急部担当理事 石川医院院長の宮川美知子先生に「医療情報の入手方法～子育てや子供の発熱で困ったら～」について区民の方にお話し頂き、続いて、ここ数年恒例になりました映画上映ですが、本年は是枝裕和監督、福山雅治主演の「そして父になる」を上映いたします。

午後の特別講演は、NHKのアナウンサーとして活躍していた職を50代で辞し、医療的ケアを必要とする子どもたちとその家族をサポートする職へと転身した、国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー 内多勝康様に「医療的ケアがあっても安心して暮らせる社会を目指して」と題して、ハウスマネージャーとしての日々の奮闘から、現状と問題点、求められる地域のサポートなどについて講演頂きます。続くシンポジウム1は「ネット依存・ゲーム障害の現状と対処」をテーマに板橋区小児科医会会长の依藤 壽先生と久里浜医療センター精神科医長の中山秀紀先生にお話し頂きます。シンポジウム2は「すくすく、のびのび、安心子育て」をテーマに板橋区、板橋区医師会が実施している支援についてご紹介いたします。シンポジストとして、板橋健康福祉センター保健指導係長の檜垣多希子様、心身障害児総合医療療育センター小児精神科の長瀬美香先生、板橋区医師会病院小児科の泉裕之先生、特別発言として東洋大学社会学部社会福祉学科助教の泉谷朋子先生にお話を頂きます。

1日目、2日目とも非常に興味ある盛りだくさんのテーマをお届けできるものと考えております、是非多数の皆様方のご参加をお待ちしております。板橋区医師会は元気ある地域づくりに少しでも貢献できればと考えております。今後とも板橋区医師会を宜しくお願ひいたします。

板橋区医師会医学会開催一覧

(敬称略)

回数・開催日	プログラム		
第1回 1996年(H 8) 6/22・23	1日目 特別講演 シンポジウム	がん診療の現状—終末期医療について— 講師：国立がんセンター総長 阿部 薫 21世紀に向けた地域医療について—現状と将来について—	
第2回 1997年(H 9) 7/26・27	2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2	高齢化社会における医療・保健・福祉の目標と評価 講師：東洋大学社会学部教授 園田恭一 板橋区における大災害時の医療対策 板橋区における在宅医療の構築	
第3回 1998年(H 10) 8/29・30	2日目 シンポジウム1 シンポジウム2	幼児学童期の精神面の諸問題と現場での対応 介護保険と医療・福祉の連携	
第4回 1999年(H 11) 7/10・11	2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2	医療制度改革案について—特に参照価格制度について— 講師：東京都医師会会長 佐々木健雄 幼児学童期の感染症 板橋区における介護保険の準備一本音で語る介護保険—	
第5回 2000年(H 12) 8/26・27	2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2	胃癌診断・治療の進歩 講師：国立がんセンター名誉院長 市川平三郎 小児救急 介護保険の現状と問題点	
第6回 2001年(H 13) 7/14・15	2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2	医療と情報 講師：北里大学教授 養老孟司 小児の生活習慣病 成人における生活習慣病を考える	
第7回 2002年(H 14) 9/28・29	2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2	お医者さんのかかり方が変わる? 講師：医事評論家 行天良雄 小児のアレルギー —アレルギーを知りましょう— 病院のかかり方—かかりつけ医をもちましょう—	
第8回 2003年(H 15) 9/27・28	2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2	新型ウイルス性肺炎SARS(重症急性呼吸器症候群) 講師：国立感染症研究所感染症情報センター長 岡部信彦 板橋区健康づくり21計画—健康でいきいきとした暮らしをめざして— 身近な感染症の予防—あなたももう一度見直しませんか—	
第9回 2004年(H 16) 9/25・26	2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2	地域で痴呆を支える：かかりつけ医の役割 講師：東京都老人総合研究所 痴呆介入研究グループ参事研究員 本間 昭 こころの生涯健康を考える 『たばこ』健康づくり・まちづくりの視点から 一健康づくり応援型のまちの実現をめざして—	
第10回 2005年(H 17) 9/24・25	1日目 研修会 2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2 AED講習会	もの忘れ相談医養成研修会 講師：東京都老人医療センター精神科 高橋正彦 若年者の性行動に向き合って 講師：赤枝六本木診療所院長 赤枝恒雄 健やかな老後をめざして—介護予防と疾病予防— これからの板橋の認知症ケアを考える	
第11回 2006年(H 18) 9/23・24	1日目 教育講演 研修会 2日目 特別講演 シンポジウム1 シンポジウム2 AED講習会	健診を評価する：その意義と方法 講師：聖路加国際病院院長 福井次矢 もの忘れ相談医養成研修会 講師：板橋区医師会理事 弓倉 整 健康づくりの食べ方と玄米ニギニギダンベル体操 講師：早稲田大学スポーツ科学学術院教授 鈴木正成 板橋区の子育て支援 板橋区における脳卒中対策について	

回数・開催日	プログラム		
第 12 回 2007 年 (H 19) 9/8・9	1 日目 2 日目	教育講演 研修会 特別講演 シンポジウム 1 シンポジウム 2 AED 講習会	特定健診・特定保健指導—地域における新たな生活習慣病予防システムの構築— 講師：日本医師会常任理事 今村 聰 もの忘れ相談医養成研修会 講師：東京都老人医療センター精神科部長 小山恵子 メタボリックシンドロームを撲滅するために 講師：帝京大学内科学主任教授 寺本民生 気になる感染症— 一体、いま何が問題なの!?— いざ、病気になったら—効率的な医療機関へのかかり方—
第 13 回 2008 年 (H 20) 9/6・7	1 日目 2 日目	教育講演 研修会 特別講演 シンポジウム 1 シンポジウム 2 AED 講習会	医療関連死と監察医制度 講師：東京都監察医務院院長 福永龍繁 もの忘れ相談医養成研修会 講師：こだまクリニック院長 木之下徹 豊かな生、豊かな死のために 講師：ノンフィクション作家 柳田邦男 子どもの心のケアについて 実戦！メタボリックシンドローム撲滅
第 14 回 2009 年 (H 21) 9/26・27	1 日目 2 日目	教育講演 要望演題 1 要望演題 2 特別講演 シンポジウム 1 シンポジウム 2 AED 講習会	医療と政治—医政活動の原点を考える 講師：東海大学教授 武見敬三 糖尿病の介護と保健について 穏やかな最期を迎えるための医療と介護 糖尿病の早期治療の意義は？／特定健診・一般健診を活かそう 講師：順天堂大学大学院教授 河盛隆造 考えよう日本のあした一見直そう 子どもの生活習慣— 早く見つけよう！—がんなんて怖くない—
第 15 回 2010 年 (H 22) 9/25・26	1 日目 2 日目	教育講演 要望演題 1 要望演題 2 特別講演 シンポジウム 1 シンポジウム 2 研修会 1 研修会 2	超高齢社会における医療介護の展望 講師：東京大学高齢社会総合研究機構教授 辻 哲夫 退院前カンファレンス～入院から在宅まで、切れ目のない連携～ 施設間連携 二人の主治医（共同診療） 自分らしい死をどう迎えるか 講師：元臨済宗佛通寺派管長・僧医 対本宗訓 次世代を担う子どもの健康を守るために 在宅でも安心！医療と介護 産業医研修会 医療安全研修会
第 16 回 2011 年 (H 23) 9/24・25	1 日目 2 日目	教育講演 要望演題 1 要望演題 2 特集 特別講演 シンポジウム 1 シンポジウム 2	いつか大事故が起こる—平穏無事は危険信号—（医療安全研修会） 講師：船橋市立医療センター副院長 医療安全管理室室長 唐澤秀治 小児在宅医療 退院を含めた在宅療養支援 災害医療支援（東日本大震災を中心として） ロコモと介護予防—寝たきりを防止するために— 講師：日本臨床整形外科学会理事長 藤野圭司 認知症！地域の力で支えよう 子育てアドバイス
第 17 回 2012 年 (H 24) 9/29・30	1 日目 2 日目	教育講演 要望演題 1 要望演題 2 特別講演 シンポジウム	東京都医療連携手帳の普及に向けて—がん診療に求められる医療連携— 講師：都立大塚病院副院長 鶴田耕二 胃ろう（経管栄養法）を考える 医療・介護現場における患者対応 いのちを商品にした国アメリカ～日本の宝を守るには～ 講師：ジャーナリスト 堤 未果 「災害と医療」 午前の部「災害時の医療ネットワーク」 午後の部「東日本大震災に学ぶ災害時の医療」

回数・開催日	プログラム		
第18回 2013年(H25) 12/7・8	1日目 教育講演 要望演題1 要望演題2 メインテーマ 特別講演 トークセッション シンポジウム	2日目 教育講演 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	最近の医療訴訟の傾向と対策～診療所の法的リスクマネジメント～(医療安全研修会) 講師：棚瀬法律事務所代表弁護士 棚瀬慎治 地域における多職種連携 糖尿病に関わる複数科連携 宇宙医学の社会への還元 宇宙と健康 講師：JAXA 宇宙飛行士／宇宙医学研究センター長 向井千秋 有人宇宙飛行 黎明期に活動した二人の医師と宇宙飛行士が語る 宇宙医学と健康長寿
第19回 2014年(H26) 9/13・14	1日目 教育講演 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	2日目 教育講演 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	新型骨粗しょう症の恐怖～生活習慣病は要注意～ 講師：東京慈恵会医科大学整形外科学講座准教授 斎藤 充 小児医療に関する最近の話題 「最高の人生の見つけ方」 人生の最期を穏やかに過ごすために 講師：めぐみ在宅クリニック院長 小澤竹俊 今日からできる認知症の予防
第20回 2015年(H27) 9/12・13	1日目 教育講演 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	2日目 教育講演 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	専門医としての総合診療医～専門医制度とかかりつけ医の役割～ 講師：一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会理事長 丸山 泉 難病・がん患者に対する新たな治療・療養の支援 「エンディングノート」 和食と健康 講師：静岡文化芸術大学学長 熊倉功夫 脳卒中の予防と治療
第21回 2016年(H28) 9/10・11	1日目 教育講演 要望演題 映画 シンポジウム	2日目 教育講演 要望演題 映画 シンポジウム	診療関連死と監察医制度 講師：東京都監察医療院院長 福永龍繁 癌の予防・早期発見・治療・リハビリ・終末期 「ペコロスの母に会いに行く」 認知症を地域が支える、みんなで支える 基調講演「認知症とともに生きる社会に向けて」 講師：東京都健康長寿医療センター研究所研究部長 粟田主一 対談講演「認知症とともに、よりよく生きる」 講師：認知症とともに歩む本人の会代表 佐藤雅彦
第22回 2017年(H29) 9/2・3	1日目 教育講演 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	2日目 教育講演 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	認知症高齢者をめぐる諸問題 講師：東京都健康長寿医療センター研究所研究部長 粟田主一 認知症の現状と課題～診断・対策・ケア～ 「徘徊 ママリン 87歳の夏」 健康長寿の秘訣：最近の考え方 講師：東京都健康長寿医療センター研究所副所長 新開省二 元気な高齢者を目指して！フレイルって何ですか？
第23回 2018年(H30) 12/15・16	1日目 教育講演 要望演題 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	2日目 教育講演 要望演題 要望演題 映画 特別講演 シンポジウム	オンライン診療の現状と課題～在宅診療における活用 講師：日本医師会副会長 今村 聰 急性期から在宅までの医療・介護の連携 難病に対する医療と介護 「いしゃ先生」 笑いと健康 心と身体を癒す笑いの効果 講師：福島県立医科大学医学部疫学講座主任教授 大平哲也 「終活」医療の現場から アドバンス・ケア・プランニングとは

演題発表について

○□演発表の方へ

1. 発表時間は、□演発表 5 分、質疑討論 3 分の合計 8 分です
※発表時間厳守でお願いします。進行につきましては、座長より指示がございます
2. PC は原則、学会が用意したものを使用してください
3. 発表されるセッションの約 30 分前には 2 階小ホール前の総合受付へお越しください
4. PC を使用される場合は試写をいたします。2 階小ホール前の総合受付後、「PC 受付」にお立ち寄りください。
5. スライド枚数制限はございませんが、□演時間内で無理のないようご注意ください
6. 発表時間 10 分前までには、発表会場内最前列左手の席にてお待ちください
7. スクリーン 1 面映写となっております

○PC を使用される方へ

ご発表に際しては USB フラッシュメモリ、CD-R、または PC 本体（Windows、Macintosh）をお持ち込みください

◆ USB メモリまたは、CD-R 持ち込みの場合（Windows ご使用で、ご発表内容に動画がない方）

- ・本会が準備する環境は Windows、PowerPoint 2003/2007/2010/2013/2016 です
- ・フォントは、文字化けやズレを防ぐために OS 標準のものをご使用ください
推奨フォント 日本語：MS 明朝、MS ゴシック 英語：Century.

◆ PC 持ち込みの場合（Macintosh ご使用の方または、ご発表内容に動画がある方）

- ・本会が準備するプロジェクタケーブルの端子は「ミニ D-Sub15 ピン」です
これに対応する PC をご持参ください
一部小型 PC、Macintosh など、変換コネクタが必要な場合は必ずご持参ください
- ・スクリーンセーバー、省電力設定、個人認証などの機能はあらかじめ解除しておいてください
- ・発表中または準備中にバッテリ切れとなる恐れがありますので、電源コードは忘れずにご用意ください
- ・動画は事前に再生できるかご確認ください
発表動画データを作成された PC とお持込み頂く PC が別の場合はご注意願います
- ・スムーズな進行をするために、Power Point 付属機能の「発表者ツール」の使用はお控えください

発表時の PC 操作について

- ・演台上にモニター、操作ボタンがセットされております、スライドの操作は演者ご自身にて行ってください、
PC 本体持込みの場合も同様です

※注意事項

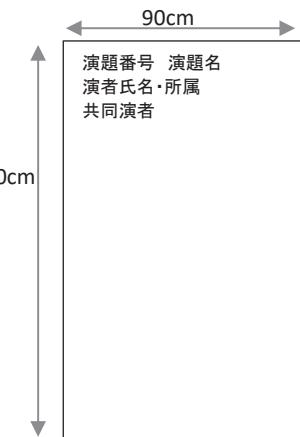
- 当日、会場ではデータ修正はできません
念のため、バックアップデータを必ずお持ちください
- 作成したデータは、作成にご使用した PC 以外での PC で必ず動作をご確認ください

○演題発表座長の方へ

担当セッション開始30分前までに2階小ホール前の総合受付にて受付をすませ、10分前には発表会場内最前列右手の席にてお待ちください

○ポスターセッションの方へ

1. ポスターは2階小ホール前のスペースに掲示いたします
2. 13:00までに2階小ホール前の総合受付にて受付をすませ、ご自身で掲示をお願いします
貼付に必要な画鋲・テープは事務局で用意いたします
3. ポスターは右図の要領で作成してください
サイズ 横90cm×縦150cm
(PowerPoint60cm×100cmで作成いただき、
1.5倍で出力)
演題番号・演題名・演者氏名・所属・共同演者もデータ内に記載をお願いします。
4. ポスターは掲示のみで、発表はございません
5. ポスター掲示は13:30~17:15までとなっております
ご自身で持ち帰る場合は17:15~17:30の間に撤去をお願いいたします
時間が過ぎましたら事務局で撤去処分いたします



【取得可能な単位等】 医学会に参加することにより以下の単位等が取得できます

12/7 (土)

■教育講演 (第1会場 17:00~18:00)

●日本医師会生涯教育 1単位
カリキュラムコード 7.8

お問い合わせ先 公益社団法人板橋区医師会

〒173-0012 板橋区大和町1-7

igakukai@itabashi.tokyo.med.or.jp TEL. 03-3962-1301 FAX. 03-3964-3652

板橋区立文化会館



第 24 回板橋区医師会医学会日程表

12/7(土)

	13	14	15	16	17	18	19
4F 大会議室 第2会場		13:30-16:10 一般演題（看護）・要望演題				18:05-19:30 懇親会	
3F 第4会議室 第4会場		13:30-16:10 一般演題					
第3会議室 第3会場		13:30-16:18 一般演題・要望演題					
2F 小ホール 第1会場		13:30-16:50 要望演題			17:00-18:00 教育講演 「かかりつけ医の 感染対策」		
ロビー ポスター セッション		13:30-17:15					

12/8(日)

	10	12	13	14	15	16	17	
2F 大ホール 区民公開 講座		10:00-12:15 東京都相互理解の ための対話促進支 援事業		13:10-14:10 特別講演 「医療的ケア があっても安 心して暮らせ る社会を目指 して」		14:20-15:10 シンポジウム 1 「ネット依存・ ゲーム障害の 現状と対処」		15:20-16:50 シンポジウム 2 「すくすく、のび のび、安心子育て」

プログラム

12月7日(土) (第1会場 2F 小ホール)

○要望演題1 「チームで取り組む医療・介護」

今般、医療を取り巻く環境によっては各専門家が単独で行動するのではなく、それぞれの知識や経験を共有し患者や家族に寄り添う医療が求められています。こういった背景から地域包括ケアシステムの構築は必然的な発想であります。今回の医学会では小児から高齢者における、施設内でのチーム医療から施設間での取り組み、地域の中での多業種によるチーム医療などの現状についてご発表いただき、実りのある議論をいたします。

13:30 - 14:18

座長：佐藤 恵

要望演題1

(板橋区医師会監事／佐藤クリニック院長)

1-1

病棟における膀胱全摘除術後のストーマ装具の情報共有について

～入院から退院までの事例を通して～

野溝ゆう子（日本大学医学部附属板橋病院 看護部）

1-2

心臓外科術後のリハビリテーションにおける看護師の介入

～多職種連携を通して～

神永智子（東京都健康長寿医療センター 看護部）

1-3

患者・家族が安心して退院（転院）できるための支援

～地域連携パスの資料作成と今後の課題～

阿南加奈（日本大学医学部附属板橋病院 看護部 医療連携センター）

1-4

入退院支援と医療介護の連携についての活動報告

齊藤みちよ（日本大学医学部附属板橋病院 医療連携センター）

1-5

院内・院外の連携強化に向けた患者支援の取り組み

小牧宏子（東京都保健医療公社豊島病院 総合患者支援センター患者サービス係）

1-6

成増・下赤塚地区医療介護連携会議について

豊嶋ひとみ（成増地域包括支援センター）

14:18 - 15:06

座長：斎藤英治

要望演題1

(板橋区医師会会长／斎藤医院院長)

1-7

総合病院における心理職の役割についての一考察

～当院の心理相談から見えてきたチームにおける心理職の活用可能性～

井上麻衣（東京都保健医療公社豊島病院 総合患者支援センター医療相談係）

脳血管障害患者の再発予防及び地域連携のためのツールを目的とした脳**1-8****卒中リハビリノートの作成**

大沼 剛（板橋リハビリ訪問看護ステーション 板橋区脳卒中懇話会リハビリーション部会 板橋区地域リハビリテーションネットワーク）

医療チームにおける多職種連携**1-9****～Omegaven® 分注後の細菌汚染リスクと有効性の評価～**

渡邊 蘭（帝京大学医学部附属病院 薬剤部）

板橋区及び東京都健康長寿医療センターの高齢者薬物療法に関するアン**1-10****ケート調査**

島崎良知（東京都健康長寿医療センター 薬剤科）

特別養護老人ホームにおける多職種による食支援**1-11**

瀧谷英介（渋谷歯科医院）

成人発達障害の入院治療について**1-12****～帝京大学医学部附属病院メンタルヘルス科の現状～**

森岡久雄（帝京大学医学部 精神神経科学講座）

15:06 – 15:54

座長：鈴木陽一

要望演題 1

（板橋区医師会理事／板橋区役所前診療所）

地域がん診療連携拠点病院（高度型）における 2018 年度緩和ケアチー**ム診療の現状****1-13**

星野隼矢（帝京大学医学部附属病院 緩和ケア内科 帝京大学医学部附属病院 緩和ケアセンター）

多職種連携 SNS サービス、ICT を用いた新しい糖尿病診療**1-14**

野村和至（野村医院）

包括的な胃がん外科治療の構築**1-15**

深川剛生（帝京大学医学部附属病院 上部消化管外科）

適切な病診連携により切迫骨折の段階で手術を行い、歩行能力を維持で**1-16****きた両側大腿骨非定型骨折の 1 例**

谷田部幸平（帝京大学医学部 整形外科学講座）

超高齢者時代における多職種が介入する同種造血幹細胞移植を考える**1-17**

小林寿美子（東京都健康長寿医療センター 血液内科）

症例から考える要介護者に対する歯科医療の役割**1-18****～他職種、高次医療機関との連携の実際～**

小林 顕（板橋区歯科医師会）

○要望演題 2 「ACP を考える」

我が国が長寿国家となり更に超高齢化が進む中で、生活の場所や様式、人生の終盤の過ごし方に対する考え方も多様化しています。住民個人がこれまでよりも早い段階から人生の終盤の過ごし方について、家族などの信頼できる人に相談しともに考えていく過程—Advance Care Planning (ACP) は、人が自分らしく過ごすことを達成できるだけでなく、医療や介護の適正利用にも有益と考えます。今回ACPについて、医師や看護師をはじめとした病院スタッフ、かかりつけ医、訪問看護師、介護職、ソーシャルワーカー、行政担当者などが、それぞれ異なる立場から現状と課題の問題提起をすることで、地域での問題点を浮き彫りにしたい。

15:54 – 16:50

座長：吉野正俊

要望演題 2

(板橋区医師会理事／吉野内科クリニック院長)

1-19 『Living will とケアマネジメント』

村尾和俊（慈誠会前野病院）

1-20 自宅退院を望む外国人末期心不全患者に、EOL ケアによってもたらされた心理的変化を明らかにする

池田圭佑（東京都健康長寿医療センター 看護部）

1-21 ACP に関する区民アンケート調査報告

～平成 30 年度板橋区民まつりアンケートより～

鈴木陽一（板橋区医師会）

1-22 Advance Care Planning を地域で支える地域包括ケア実践に向けた多職種研修会の取り組み

落合亮介（帝京大学医学部 内科学講座腫瘍内科）

1-23 ACP を実践する上での課題と心理職の役割～心理職の立場から～

菊岡藤香（東京都保健医療公社豊島病院 総合患者支援センター医療相談係）

1-24 急性期病院における高齢者の最期の迎え方の意思決定に関する調査 1 例 ～呼吸不全の高齢者に焦点を当てて～

三崎春奈（東京都健康長寿医療センター 看護部）

1-25 がん患者の意思決定を支援する看護師の関わり

野呂夏希（東京都健康長寿医療センター 看護部）

17:00 – 18:00

座長：鈴木育夫

教育講演（医療安全研修会）

(板橋区医師会副会長／鈴木医院院長)

かかりつけ医の感染対策

松永直久（帝京大学医学部附属病院感染制御部部長）

※日生涯教育単位 1 単位

カリキュラムコード 7：医療の質と安全

8：感染対策

12月7日(土) (第2会場 4F 大会議室)

13:30 - 14:10

一般演題1 (看護)

座長：土谷明子

(帝京大学医学部附属病院看護部 看護部長)

2-1

新人教育の実態調査と時間短縮に向けての取り組み

矢島法子 (日本大学医学部附属板橋病院 NICU)

2-2

外来待ち時間に関する問合せを軽減するための取り組み

清水さやか (板橋区医師会病院 看護部外来)

2-3

成人病棟に入院した小児患者への早期離床の関わり方についての看護師の思い

岡野竜之介 (板橋区医師会病院 看護部 S4 病棟)

2-4

産褥期における下肢浮腫に対する足浴の有効性について

野崎啓子 (東京都保健医療公社豊島病院 看護部)

2-5

在宅酸素導入患者に向けての指導

山口あゆみ (東京都保健医療公社豊島病院 看護部)

14:10 - 14:50

一般演題2 (看護)

座長：野尻 馨

(板橋区医師会病院看護部 N5 病棟師長代理)

2-6

救急室の教育システム導入検討について

平川由里 (日本大学医学部附属板橋病院 看護部)

2-7

救命救急センターでの早期リハビリテーション介入についての取り組み

菊川一真 (日本大学医学部附属板橋病院 看護部)

2-8

病院内でデイケア導入の経過報告

高久陽子 (東京都保健医療公社豊島病院 看護部)

2-9

帝京大学医学部附属病院における急変対応シミュレーションの効果

西山智子 (帝京大学医学部附属病院 安全管理部)

2-10

抗がん剤治療中で糖尿病を合併した認知症患者に対する食事援助

～他職種連携の介入を通して～

原島このみ (板橋区医師会病院 看護部 S5 病棟)

14:50 - 15:38

一般演題3（看護）

座長：西川玲子

(豊島病院看護部 看護師長)

2-11

認知機能が低下した高齢者における荷重制限での移乗動作の援助
～右大腿部頸部骨折・観血的整復固定術後の指導を通じて～

古川えり（板橋区医師会病院 看護部 S3 病棟）

2-12

認知症高齢者の在宅復帰を振り返る
～独居・日中独居・夫婦のみ世帯の退院支援～

富山沙也香（安田病院 退院支援チーム）

2-13

高齢の糖尿病患者を支える妻の気持ちを考えた看護

皆川小波（東京都健康長寿医療センター 看護部）

2-14

長期入院高齢者に対するセルフケア再獲得に向けて

前田浩子（東京都健康長寿医療センター 看護部）

2-15

終末期患者と家族の意思を尊重しての退院支援を振り返って

坂口華美（板橋区医師会病院 看護部 N5 病棟）

2-16

患者のQOLを考慮した退院指導シートを用いた在宅療養に向けての退院支援

平島拓弥（板橋区医師会病院 看護部 S3 病棟）

15:38 - 16:10

要望演題1

座長：萬由美子

(安田病院 看護師長)

2-17

アクションカードを取り入れた防災訓練を試みて

江口摩耶（板橋区医師会病院 看護部 S5 病棟）

2-18

食事摂取が進まない意思疎通が困難な患者との関わり
～患者が示したしぐさを振り返って～

雨宮早織（東京都健康長寿医療センター 看護部）

2-19

退院前カンファレンスにおける退院支援看護師の役割について
～精神疾患患者の事例を通して～

邑田由貴（日本大学医学部附属板橋病院 看護部 医療連携センター）

2-20

末期心不全患者への苦痛緩和にむけた関わり

蟻川朋美（東京都健康長寿医療センター 看護部）

18:05 - 19:30

懇親会

12月7日(土) (第3会場 3F 第3会議室)

13:00 – 14:34

座長：櫛屋和雄

一般演題4

(板橋区医師会理事／ねや内科クリニック院長)

3-1

後腹膜腫瘍による急性腎不全となり、開腹生検で後腹膜線維症の診断となつた1例

宮崎貴規（東京都保健医療公社豊島病院 腎臓内科）

3-2

後腹膜腫瘍切除の1例

川口真智子（東京都保健医療公社豊島病院 外科）

3-3

糖尿病に合併した脂肪肝を背景に肝細胞癌を発症した親子の2症例

柳垣 充（安田病院 東京慈恵会医科大学 消化器外科）

3-4

深部静脈血栓症の治療後に解熱した不明熱の1症例

松井瑞穂（板橋区医師会病院 臨床研修医）

3-5

腹部大動脈ステントグラフト内挿術がもたらした腹部大動脈瘤、腸骨動脈瘤症例の治療適応拡大

堀 貴行（帝京大学医学部附属病院 心臓血管外科）

3-6

骨粗鬆症の新治療薬 EVENITY 投与の小経験

木村英植（木村整形外科）

3-7

外傷後の骨露出創の閉鎖に局所陰圧洗浄療法が有効であった3例

小泉 玄（帝京大学医学部 救急医学講座）

3-8

非スポーツによる疲労骨折の小経験

木内仁志（日本大学医学部附属板橋病院 整形外科）

14:34 – 15:14

座長：塩野元美

要望演題1

(板橋区医師会病院院長)

3-9

救急外来でCTを撮影し、後日連絡を要した症例の検討

玉井大地（帝京大学医学部 救急医学講座）

3-10

地域における外来心臓リハビリテーション

～クリニックにおける包括的心不全管理～

原田忠宜（いたばし・ハートクリニック）

3-11

当院におけるハートチームによる低侵襲心臓手術への取り組み

北住善樹（日本大学医学部附属板橋病院 心臓血管外科）

3-12

心不全入院を繰り返していたが2度の経皮的僧帽弁接合不全修復術(MitraClip)

と心臓リハビリテーションで心不全再発を防いだ拡張型心筋症の1例

鬼頭健人（帝京大学医学部附属病院 循環器内科）

3-13

緊急TAVIから1年、入院加療を余儀なくされている超高齢者の1例

村田知洋（東京都健康長寿医療センター 心臓外科）

15:14 - 16:18

一般演題 5

座長：宇野昭毅

(板橋区医師会病院 内視鏡室室長)

- 3-14 腰部脊柱管狭窄症診断における腰骨神経体性感覚誘発電位(SEP)の有用性
松倉清司 (帝京大学医学部附属病院 脳神経内科 大学院生)
- 3-15 構音障害を主訴に来院し筋萎縮性側索硬化症が疑われた1例
千代侑香 (東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科)
- 3-16 経口ステロイド療法が著効した薬剤性肝障害の1例
松本浩次 (まつもとクリニック)
- 3-17 人畜共通感染症と考えられるE型肝炎の2症例
石川 徹 (小豆沢病院 内科)
- 3-18 内視鏡的に除去し得た胃石食道嵌頓の1例
平山雅大 (日本大学医学部附属板橋病院 消化器・肝臓内科)
- 3-19 抗IL-5抗体薬による甲状腺機能低下症が疑われた1例
神野優介 (日本大学医学部 内科学系呼吸器内科学分野)
- 3-20 Hamman症候群を合併した糖尿病性ケトアシドーシスの高齢患者症例から考える
中島利菜 (帝京大学医学部附属病院 内分泌代謝・糖尿病内科)
- 3-21 糖尿病早期発見のためのOGTT試験と糖尿病予防のための栄養指導の実際
角田玲子 (安田病院 栄養科)

12月7日(土) (第4会場 3F 第4会議室)

13:30 - 14:34

一般演題 6

座長：藤田雅巳

(板橋区内科医会会長／藤田医院院長)

- 4-1 離乳食支援のあり方を考える～「授乳・離乳の支援ガイド」の改定を受けて～
増喜佑起子 (後藤こどもクリニック)
- 4-2 「たべる力を広げる」ための取り組み～より安全な嚥下食の提供を目指して～
小笠原三保子 (東京都保健医療公社豊島病院 栄養科)
- 4-3 公社豊島病院における外国人患者に対する福祉的支援の一考察
～平成30年度におけるソーシャルワーカーの支援記録から見えてきたもの～
鈴木謙一 (東京都保健医療公社豊島病院 総合患者支援センター医療相談係)
- 4-4 当院における地域リハビリとしての健康イベントの現状と課題
白木靖次郎 (上板橋病院 リハビリテーション科)
- 4-5 地域連携患者さん向けの検査説明書作成
飯塚 淳 (東京都保健医療公社豊島病院 放射線科)
- 4-6 前立腺癌に対するIGRTを採用した放射線治療の臨床的検討
古賀洋介 (東京都保健医療公社豊島病院 放射線科)

4-7

板橋区における前立腺がん検診（PSA 検診）の現状

青木 豊（板橋区医師会病院 泌尿器科）

4-8

水疱性類天疱瘡の重症例を通じて考えるチーム医療

林耕太郎（帝京大学医学部附属病院 皮膚科）

14：34 – 15：14

一般演題 7

座長：宮下理夫

（宮下こどもクリニック院長）

4-9

休日医科診療における当院の受診傾向

宮川美知子（石川医院）

4-10

卵による遅発型アレルギーの 3 乳児例

後藤洋一（後藤こどもクリニック）

4-11

術前に診断し得た小児胆囊捻転症の 1 例

加藤 廉（日本大学医学部附属板橋病院 小児外科）

4-12

小児穿通性頭蓋内損傷・異物に対する対応鍵による穿通性頭蓋内異物の 1 例

川口 愛（帝京大学医学部附属病院 脳神経外科）

4-13

子育て世代の乳癌～子どもに親のがん、親の死をどう伝えるか～

原由起子（日本大学医学部附属板橋病院 乳腺内分泌外科）

15：14 – 16：10

一般演題 8

座長：大野安実

（板橋区医師会理事／おおの内科クリニック院長）

4-14

入院サポートにおける歯科衛生士の取り組み

坂口由妃（東京都保健医療公社豊島病院 看護部）

4-15

デノスマブ使用により比較的短期間に骨吸収抑制薬関連顎骨壊死をきたした 1 症例

齊木林太郎（東京都保健医療公社豊島病院 歯科口腔外科）

4-16

上唇に発生した腺房細胞癌の 1 例

齊藤美香（東京都健康長寿医療センター 歯科口腔外科）

4-17

下顎歯肉腫脹を呈した他臓器原発転移性口腔悪性腫瘍の 2 例

市川雄二（東京都保健医療公社豊島病院 歯科口腔外科）

4-18

下肢痛に対する鍼灸施術の 1 例

田村憲彦（田村はり治療院）

4-19

物理療法 超短波療法における考察

藤原智也（板橋区柔道整復師会）

4-20

MALLET FINGER の症例報告

奥成考浩（板橋区柔道整復師会／わかくさ整骨院）

ポスターセッション (2F 小ホールロビー)

13:30 - 17:15

ポスター1

平成 29 年度・30 年度の板橋区肺がん検診の現状

萩原照久 (板橋区医師会 胸部読影班)

ポスター2

不眠症患者における向精神薬の処方状況調査板橋区内科医会によるアンケート調査

藤田雅巳 (板橋区内科医会)

ポスター3

板橋区肝炎ウィルス検診結果報告 (平成 30 年度)

石川 徹 (板橋区医師会 肝炎検診班／小豆沢病院 内科)

ポスター4

呼吸器疾患スクリーニング検診班の活動について

大森千春 (板橋区医師会 呼吸器疾患スクリーニング検診班)

ポスター5

平成 30 年度板橋区学校検尿結果について

鈴木育夫 (板橋区医師会 尿検診班)

ポスター6

令和元年度板橋区学童心臓検診についての報告

泉 裕之 (板橋区医師会循環器系検診班)

ポスター7

板橋区における喉頭がん検診について

河原秀明 (板橋区耳鼻咽喉科医会)

12月8日(日)区民公開講座 共催:板橋区【会場:大ホール】

司会／板橋区医師会理事 大野 安実

午前の部

10:00 - 12:15

■東京都相互理解のための対話促進支援事業

「医療情報の入手方法～子育てや子供の発熱で困ったら？～」

講師／東京小児科医会小児救急部担当理事・石川医院院長 宮川美知子

■映画「そして父になる」(120分)

午後の部

13:10 - 16:50

■主催者挨拶

■特別講演「医療的ケアがあっても安心して暮らせる社会を目指して」

座長／板橋区医師会副会長 鈴木 育夫

講師／国立成育医療研究センターもみじの家ハウスマネージャー 内多 勝康

■シンポジウム1「ネット依存・ゲーム障害の現状と対処」

座長／板橋区医師会会長 斎藤 英治

シンポジスト／板橋区小児科医会会長 依藤 壽

久里浜医療センター精神科医長 中山 秀紀

■シンポジウム2「すくすく、のびのび、安心子育て」

座長／板橋区小児科医会副会長 平山 貴度

シンポジスト／板橋健康福祉センター保健指導係長 檜垣多希子

心身障害児総合医療療育センター小児精神科 長瀬 美香

板橋区医師会病院小児科 泉 裕之

特別発言／東洋大学社会学部社会福祉学科助教 泉谷 朋子

※区民公開講座は申込制となっています(定員1,200名)。

＜申し込み方法＞

板橋区医師会 Web サイト <https://www.itb.tokyo.med.or.jp/gakkai/kouza>

区民公開講座参加申込みの入力フォームに必要事項をご入力の上お申し込みください。参加登録完了のメールを送信いたしますので、当日はその画面をお見せください。定員となり次第締切となります。

